

高松市立国分寺南部小学校 体力向上プラン

【学校教育目標】

自ら学ぶ意欲と豊かな感性をもち、未来を創る国南小の子ども

【本校の課題】

- 令和6年度の1～5年生（現2～6年生）において、男女ともほとんどの学年で多数の項目が、県・全国平均を下回っている。
- 運動に対する意欲に差が大きく、昼休みや20分休みに運動する児童が限られている。
- 体力・運動機会の二極化状態になっている。

【現状】

学級の人数が35人近くになる学級においては、領域によって運動回数や運動時間の確保が難しい領域があり、柔軟に対応したり工夫したりする必要がある。

運動が習慣化していない児童が多く、休み時間等の体を動かせる時間を室内で過ごす児童が多い。運動能力に差が生まれ、運動への意欲がさらに低下する要因にもなっている。

【取組】

教科体育の時間に

運動量を確保し、児童が様々な運動に取り組めるよう教材を増やしたり、工夫したりする。学年団会でふり返りの時間をもち、次回に向けて授業改善する。

縄跳びを1校1運動に

一昨年から業間休みの時間に縄跳び運動に取り組んでいる。チャレンジカードを配布したり、活動中にアップテンポな音楽を流したりすることで、運動が苦手な児童の意欲向上につながるようにする。

休み時間をしっかり遊ぶ時間に

クラス全員が一緒に遊ぶ日を設定し、外遊びを奨励する。ジャンピングボードを常設したり、ドッジボール大会を開いたりして、児童が体を動かして遊ぶ環境や機会を確保する。

放課後の運動クラブの充実

1学期は水泳、2学期は陸上に取り組む。特に、水泳では、B&G海洋センターの職員の方々を講師としてお招きすることで、より専門的な指導を児童が受けられるようにする。

体育授業の充実

体育の授業を充実させるために、現職教育や若年研修で外部講師の指導の様子を参観する。機械運動強化月間には、道具の出し入れが容易にできるよう準備の支援を行っていく。

【目標】

- 新体力テストの結果で県・全国平均並み以上の項目数がR6年度よりも増加する。
- 休み時間に運動場で遊ぶ児童の割合を2学期終了までに70%以上にする。
- 欠席者数が全校児童数の5%以下の日が40日以上になるようにする。
- 放課後の運動クラブを魅力ある活動にし、参加児童数が対象者数の50%を越える。